事例発表3

片山耕修(小郡幼稚園園長)・・・「耕す子供たちが未来を創る!」

園児の様々な姿に触れ、「子どもってほんとすばらしいですね」

そのように表現される子どもって何しているときのこと?・・・・屋外活動、農業

幼稚園に住む 乳歯を持つ 0~7 歳児≪乳幼児≫

その存在は市民にとっての「考える装置」であり、文化を育む土台になる・・・・ その目線に立てるために、幼稚園案内人として報告する

考える視点

- ・身体に覚え込む
- ・憧れるということ

世界は知らない・・・・ 幼児は農業が大好きであること 幼児は野菜が大好きであること 幼児は本物を求める(神の内にある)ということ

乳歯を持つ子は、最先端にある「生きる現代アート」である

世界の現実から深掘り考えるなら・・・

- いわゆる後進国って自国食料が調達できないところで、大人が消費地都市エリアで ブラブラしている!
- 自給自足の暮らしをしている生活エリアや国家には、自立した地域性と文化の芳香が放たれている!
- 「食べられない」から移民問題や国家民族間問題(戦争)が発生しているのか? まさしく 食べることは人間を良くする

農業立国は万国共通の目ざすかたち

あの天然農業立国日本が 「食料を国内で生産すればコストがかかる?!?!」とふつうに言ってしまう現代日本人。

コンクリートジャングルから農地を興すためはじめることは ・・・ 水を引く

農業立国に還る日本の

未来へ